

禁忌症 及び 適応症

一、禁忌症
1. 浴用 飲用 (1) すべての急性疾患 ことに熱性疾患 (2) 進行性結核 (3) 悪性腫瘍 (4) 重い心臓病 (5) 出血性疾患 (6) 高度の貧血 (7) 病熱進行中の疾患 (8) 高度の動脈硬化症
二、適応症
1. 浴用 (1) リウマチ性疾患 (2) 痛風および尿酸素質 (3) 動脈硬化症 (4) 高血圧症 (5) 慢性肝・胆道疾患 (6) 外傷後遺症 (7) 消化器全般 (8) 成人病予防
2. 飲用 (1) 痛風および尿酸素質 (2) リウマチ性疾患 (3) 慢性消化器疾患 (4) 慢性肝・胆道疾患 (5) 糖尿病
3. 吸引用法 (1) 痛風および尿酸素質 (2) リウマチ性疾患 (3) 慢性気管支炎 (4) その他呼吸器疾患全般
三、入浴の方法及び注意
1. 温泉療法の場合入浴回数は1日2回ないし3回が適当である。 2. 温泉療法の期間は、3週間ないし4週間が適当である。最小限2週間以上が望ましい。 3. 入浴時間は初めは5分ないし10分間位としなれるに従って延長しても良い。
四、飲用の方法及び注意
1. 飲泉許可された飲泉を飲む 保健所より飲泉許可されたものを飲用する。 2. 適量を守る 一般的には1日500mL～1L程度を数回に分けて飲むのが良いとされている。 3. 常温又は白湯で飲用 お腹への刺激を和らげ、成分の吸収を穏やかにするため常温で飲むのがお勧め。